一般質問
（要旨）

僕のわんシーン
（エコ・パーク）

総合基本計画について

公明党昭島市議団　大島　ひろし　議員

質問　総合基本計画について、①前半5年の取り組みの検証内容と進捗状況は。②後半5年に向けて財政計画をより具体的に明示することが肝要である。考えは。

答弁　①政策指標に掲げる各項目について、市民意識調査の結果や各種統計データと併せ、施策の進捗を総合的に評価・点検していく。②山積する行政課題を精査し、将来都市像の実現に向けて、戦略的な施策展開と持続可能な財政運営の両立を図っていく。

質問　都は低所得者世帯を対象にエアコンの購入費補助を行うが、考えは。

答弁　令和8年度の早期に、都のスキームを基本とする事業を展開していきたい。

質問　学校教材費や修学旅行代金の補助について、現状と今後の考えは。

答弁　英語学習施設利用料や英語検定料の補助、宿泊行事の一部補助を実施している。引き続き支援の在り方について検討していく。

質問　電話により短時間で認知機能の状態を把握できる簡易チェックツールについて、見解は。

答弁　認知症の早期診断・治療に有効であり、活用について検討していく。

質問　男性へのHPVワクチン接種について、都は9価ワクチンも助成の対象とするが、考えは。

答弁　9価ワクチンについても都の補助に合わせて助成を行っていく。

質問　市民への平和講座について、今後は動画やSNSを活用した取り組みが重要と考える。見解は。

答弁　大変有効な取り組みと認識しており、今後、職員のアイデアや工夫を取り入れながら平和事業の充実に努めていく。

現役子育て世帯に選ばれる昭島市に向けた取り組み

都民ファーストの会・立憲民主党昭島市議団　ゆざ　まさ子　議員

質問　子どもの遊び場の充実について、①子育てひろばは年齢制限があり、兄弟同時の利用が難しい家庭もある。弾力的な運用は可能か。②廃園となった幼稚園などを、民間と連携し活用できないか。③令和7年度に開始した移動児童館を評価する。課題と展望は。

答弁　①国の実施要綱に基づき対象年齢を設定しており、弾力的な運用は課題としたい。②所有者の施設であるため、市としての活用は難しい。③場所の確保が課題であるが、庁内連携の下で実施回数を増やしていく。

質問　中学校の標準服について、学校間で最大1万円の価格差がある。価格差解消やリユース促進などの観点から共通仕様を導入する自治体もあるが、見解は。

答弁　一定の負担軽減が見込まれる一方、着用のルール設定等の課題もある。各学校の意向を踏まえ、丁寧に課題を整理する中、実施の可否を検討していく。

質問　少子高齢化が進む中、新婚・子育て世帯に移住・定住先として選ばれることは、まちの活力や税基盤の安定にもつながる。住宅取得支援や賃貸住宅支援について、見解は。

答弁　多額の財源を必要とする一時的な補助よりは、子育て施策の拡充が継続性・公平性の観点からも市民の理解を得られ、重要と考える。

質問　AバスへのICカード決済の導入は、利便性の向上のみならず、乗降データ分析による運行改善の観点からも、重要と考える。検討状況は。

答弁　8年度実施予定の車両入れ替えの際に、導入する予定である。

質問　デジタル技術の進展に伴い、生活に広く浸透しているポイント制度の活用は、政策目的の達成を後押しする新たな手段としてきな可能性があると考える。地域経済の循環を高めるため、地元商店街等で利用できるポイント制度を導入することについて、見解は。

答弁　健康づくりなどで貯めたポイントを商店街等で使用できる仕組みとの連動は、地元商店街での購買のきっかけや自主的な活動の促進など、地域活性化に一定の効果があると受け止めている。

ポイント制度の活用について

都民ファーストの会・立憲民主党昭島市議団　八田　一彦　議員

質問　子どもたちの運動環境の変化に伴い、成長期における体への負担に対する予防などが重要な課題となっている。健康意識の醸成にも寄与するスクールトレーナーの導入について、見解は。

答弁　運動器のトラブルの早期発見や予防が期待される一方で、人材確保等が課題となっている。引き続き国や都の動向を注視していく。

質問　保育サービスについて、都が実施するベビーシッター利用支援事業は多様化する保育ニーズに対応する有効な施策の一つであるとともに、保護者の負担軽減にもつながると考える。導入する考えは。

答弁　過去に都の制度を活用して事業を行ったが、利用がなかった。今後、都と協議しながら検討していく。

質問　スポーツ施設の充実について、ニュースポーツ支援の観点から、公共施設予約システムに利用できる競技名を明記する考えは。

答弁　これまでも分かりやすい案内に努めており、今後もきめ細かい情報発信ができるよう検討していく。

質問　公衆トイレについて、ベビーシートの清潔感やトイレ内の明るさを確保すべき。対応は。

答弁　引き続き清掃や消毒など美化に努めるとともに、トイレ内の明るさも防犯の面から、対応を検討していく。

質問　駅周辺でたばこのポイ捨てが散見される。ポイ捨て抑制のため、喫煙所の設置が重要と考える。乗降客回遊の観点からも、駅周辺の店舗も歓迎すると考えるが、見解は。

住んでみたい・住み続けたいまちづくりを更に目指そう

自由民主党昭島市議団　小林　こうじ　議員

答弁　現在、諸課題の整理・組みと考えるが、衛生面・検討を行っている。近隣店舗等への影響なども含め、引き続き課題の整理に努めていく。

質問　拝島駅の木製ベンチなどの木製構造物は、メンテナンスを怠ると利用時のけがにつながる。対応は。

答弁　メンテナンスを怠るきれいにする条例等の積極的な周知に努めていく。

質問　拝島公園プール跡地の総合施設について、地元住民が求めている施設にすべきだが、見解は。

答弁　市民の誰もがつながることができ、快適に利用できる施設であるとともに、子どもたちの想像力が育まれ、市民に愛される施設となるよう取り組んでいく。

5面下段より

国民健康保険特別会計

賛成　みらいネットワーク　林　まい子　議員

気候市民会議の開催や地域学校協働本部の立ち上げを高く評価する。

一方、横田基地周辺市街地上空での危険な訓練の中止要請や、身寄り問題の対応、ガイドヘルパーの単価引き上げなどを求める。

協働の根幹となるまちづくり条例制定に市民とともに取り組むことを求め、本予算に賛成する。

反対　日本共産党昭島市議団　奥村　博　議員

国民健康保険は、高齢者等の収入が低い人が多く加入し、医療給付費の水準も高く、その財政基盤は脆弱なのが実態である。更なる負担増を求めるのは酷と言わざるを得ない。今必要なのは、国保税の引き上げではなく、引き下げである。

更なる物価高騰の下で加入者に負担を強いる本予算に反対する。

後期高齢者医療特別会計

反対　日本共産党昭島市議団　大野　ふびと　議員

現行制度の下では、負担能力を超える事態が懸念される。物価高騰等の中、これ以上の負担増は許されない。

財源は大企業等に応分の負担を求めて確保すべきであり、保険料の更なる値上げとなる本予算に反対する。

昭島市介護保険条例の一部を改正する条例を可決とする委員長報告について

反対　日本共産党昭島市議団　大野　ふびと　議員

本条例の改正により、給与所得控除の最低保障額が引き上げられ、本来、保険料が下がるはずの市民の保険料が据え置かれるが、物価高騰の下では実質的な引き上げにほかならない。

また、最低保障額の引き上げは介護保険料減収など、地方の財源不足につながる。国への補填を要求すべき。

以上、本条例に反対する。

7面下段へ続く